



The Weekly Report of SUNAGAWA RC

砂川ロータリークラブ会報

■ 本日は4月7日(水) 第2445回例会 ■

四大祝福 会長エレクト担当
 会員卓話 PETS 報告 永森会長エレクト

※RCレート 4月1日より 1\$ 110円

■ 次週の予定 ■

4月14日(水) 50周年記念式典 50周年実行委員会
 第2446回
 4月21日(水) 会員卓話 会員増強委員会担当
 第2447回 銚井直作会員

第2444回例会記録 2021年(令和3年)3月24日(水) 晴れ「我等の生業」「四つのテスト」斉唱

- ・ゲスト紹介 本日はいらっしゃいません。
- ・ビジター紹介 本日はいらっしゃいません。

会長報告

会長 大橋 俊彦

本日はございません。

幹事報告

幹事 高坂 誠

本日はございません。

委員会報告

本日はございません。

例 会

会 員 卓 話

国際奉仕委員会担当

委員長 佐藤正一郎

「体験談」

私にとりまして、令和2年という年は、まさに癌との戦いの年でした。私がなぜ今回の卓話でこの癌の話を取りあげたかというのは、皆さん方がまさに前立腺癌適齢期だからであります。

私は、若い時から泌尿器関係の石、結石に悩まされて居りました。その為泌尿器科と縁があり、必然的にPSAの検査を受けるようになりました。

PSAとは何か、採血し血液中にある、前立腺の特別なタンパク質の数値を測定する検査だそうです。前立腺癌のバロメーターとなるものです。

泌尿器科の先生曰く「前立腺癌は、自覚症状がほとんどないために発見が遅れる事が多い癌」だそうです。「自覚症状が出てから泌尿器科外来を受診し発見される前立腺癌の40%は他の臓器に転移しており、一方PSA検査などの検診で発見された前立腺癌の60%は早期の癌だったという研究結果がある」と言う事です。

私が50歳代に最初に検査を受けた時の驚きを今でもよく覚えています。正常な数値は50歳代で「0～3」が普通ですが、いきなり19という数値がでました。てっきり前立腺癌だと覚悟しました。

泌尿器科の先生は「きっと前立腺肥大だと思う。」



と改めて検査して下さいました。その結果、私の前立腺は他人より1.7倍ほどの大きさがある事がわかりました。前立腺の普通の大きさはクルミ程度の大きさだそうですが、私の場合は鶏の卵位の大きさだったようです。

その後、3ヶ月に一度の検査でジワリジワリと数値が上がり続け、2泊3日の針生検を2～3年に一度位の割合で受けて居りました。

通常の前立腺には、12本の針で組織検査をするようですが、私は18本針をうたれていました。前立腺癌は大変進行が遅く、その為かお医者さんも様子を見ましょと、随分呑気に構えておられました。そんな針生検を受けて居りましたが、3年前前だったでしょうか、数値が急激に落ち込み、先生も不審に思われたので「佐藤さんMRIの検査をしましょう」と言って下さり、MRIの造影検査を受けました。

その結果「あやしい影がある」という告示を受けました。結果は癌でした。数値が20後半から18位まで下がり、さらに39まで上がったのもこの頃でした。通算何回目かの1泊2日の針生検、18本中1本に癌細胞が発見されました。

心配なのは、他の臓器への転移、特に前立腺癌は骨への転移が多いと言われました。さすがに癌の宣告をされ、さらに転移などという診察にはすっかり落ち込みました。しかしお陰様で転移はありませんでした。

次の段階は癌に対する対処法でした。

主治医は「豊田先生」という方で、砂川市立病院

で手術可能な前立腺の全摘を勧められました。私も「砂川で」と思っていましたので、その処置をお願い致しました。調べてみますと、全摘による副作用には、「尿漏れ」必ず起こるとありました。この年になっておむつかと落ち込むと共に覚悟を決めました。

一方、若い時からの不節制で内科にもかかっておりました。内科の先生にその旨報告し相談した所、先生から「北大で陽子線治療を受けたら？」という提案を戴きました。陽子線の何たるかも全く知りませんでした。

数年前までは保険適用外のため高額医療で一般的ではなかったが、保険の適用が可能になって最近ではメジャーな治療法になってきたという事でした。参考として適用外の頃は30回照射した場合、概算で約300万円ということでした。ネックになったのは、コロナの為、北大病院に私の場合21回の陽子線照射の為、約一ヵ月間の缶詰入院になるということでした。陽子線治療には「尿漏れ」はないと言われました。家族と相談し北大で陽子線治療を受けることにしました。

まず最初に10月6日から9日まで入院しました。陽子線を正確に照射する為に、癌の近辺に純金のゴマ粒程の玉を3個埋め込む事と陽子線で直腸を傷めない為に、直腸と前立腺の間にゲル状のものを注入する手術を受けました。この金の粒はそれに向けて陽子線を照射する為の目印となる物です。さらに、臍の下5センチ位の処と両脇にマジックで印を付けられました。それは私の腰から下の型を造り、そこへ横になった時に正確な照射を行う為の目印にするための物でした。

11月5日(木)10時入院しました。その日いきなり一回目の照射を受けました。仰向けになり、私の癌の目印に向けて、まずMRIで癌の位置を確認し、金の粒目がけて照射されたようです。熱くも痛くもなく約30分程照射台に寝ているだけですが、最初は緊張している為かあっという間に終わりました。

実際の照射は15分程度、後の時間はCT・MRIによる癌への目標設定との事でした。

月曜から金曜まで、土・日・祭日を除き12月4日迄陽子線治療を受けました。私に対処できる事は、出来るだけ排便し、便とガスを腸内に溜めない事、尿意を我慢して膀胱に尿を溜めるということでした。陽子線から臓器への照射のダメージを少なくする為であります。最初の内はそれなりの緊張感がありましたが、慣れて来ると一日が長くて暇を持て余しました。私の場合午前の9:30からの治療になり、約30分10時頃には終わります。する事がなく、楽しみは三度の食事だけです。北大に入院された方はお分かりだと思いますが、その食事のメニューは糖尿病人食のようで、私も血糖値は高かったのですが、5日目目で低血糖になってしまいました。さらに塩分が抑えられている為、味が薄く血圧も低血圧になっ

てしまいました。お陰様で入院前まで3種類の血圧の薬を服用していましたが、今日只今も血圧の薬は服用しておりません。

1階にローソンがありまして、食べようと思えば何でもありましたが、1ヵ月の辛抱と思えばローソンで買ったものは、水と新聞だけでした。

なんとか一ヵ月を過ごし12月4日(金)に退院いたしました。退院して驚いた事は体力の低下でした。

土・日曜祭日は病院が休みですので、2階の外来を30分程度歩いていましたが、自宅に帰ってお客様と立ち話をしていると、足に力が入らず、ふらつく事がありました。体力の衰えにはびっくりしました。

最近の体調ですが血糖値は高め・血圧は正常そんな毎日を過ごしております。皆さんも冒頭申し上げましたが、PSAの検査は出来るだけ受けられたら良いと思います。

最後に本日の「プレス空知」に朗報がありました。岩見沢の「松藤病院」でMB「メタロバランス検査」という検査があり、6ccの血液で男子は大腸癌・胃癌・肺癌・肝臓癌・すい臓癌・前立腺癌の6種類、女子は大腸癌・胃癌・肺癌・肝臓癌・すい臓癌・乳癌・子宮頸癌・子宮本体・卵巣癌の9種類の癌が発見できると掲載されて居りました。参考になれば幸いです。ご清聴ありがとうございました。

出席報告

委員長 山崎 義彦

第2444回例会

※在籍数 38名 ※出席規定免除 3名

※本日出席基数 37名 ※本日欠席者数 3名

※本日出席率 91.89%

※本日欠席者

佐藤文優会員、近藤俊継会員、岩淵健悦会員

※メイクアップ

湯浅克己会員、西川公平会員、香山素子会員

前々回の欠席者7名の内3名の方がメイクアップされましたので、前々回の出席率80.55%を88.88%に修正致します。

ニコニコボックス

※卓話をさせていただきます。 佐藤正一郎会員

本日のニコニコBOX 2,000円 累計額 710,050円

☆は超高額、◎は高額、○は多額

※米山記念奨学会：目標 480,000円

本日 0円 累計 398,000円

※ロータリー財団：目標 6,000\$

本日 \$ 累計 5,250\$

本号担当：瓜 俊雄 次号担当：瓜 俊雄

事務局：砂川パークホテル内 (TEL0125-52-3989)

会長 大橋 俊彦 幹事 高坂 誠

欠席届は前日昼迄に造田孝志SAAまで (TEL52-4371・FAX52-4373)